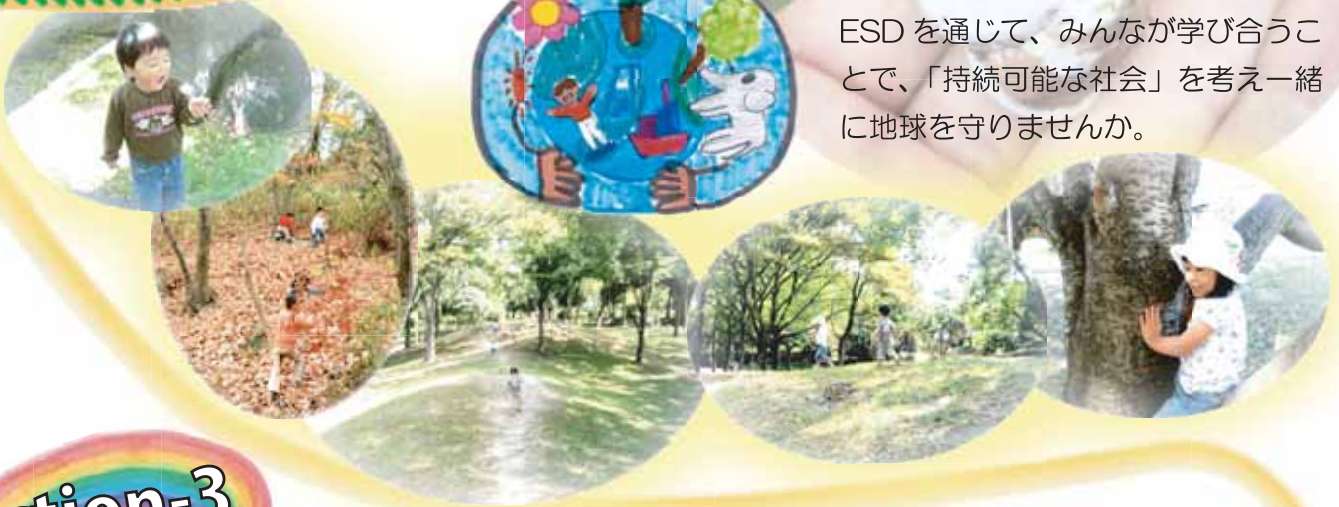


# 守りたい...

将来世代のために、私たちが守りたいもの、それは豊かな地球環境、平和な社会、誰もが自分らしく生きられる社会…。みんなが笑顔で過ごせるような愛にあふれた地球…。

ESDを通じて、みんなが学び合うことで、「持続可能な社会」を考え一緒に地球を守りませんか。



## Action-3 ESD セミナー 番外編

### ● 伝える！「情報誌の作り方」

2009年2月3日(火) 13時～15時  
とよなか男女共同参画推進センターすてっぷにて実施  
講師：小坂 友美子さん(豊中市広報広聴課)



アクション3は、この「セミナーレポート」の作成です。

より多くの人たちに、ESDの学びを伝え広げていくために、セミナー受講生が中心になって作成しました。セミナー番外編で情報誌の作り方の基礎を学び、いろいろな人たちのアイデアを生かしながら作りました。



ワークショップ発表の様子



セミナーレポート編集会議の様子

「誰に、何を、どのように」伝えるか？  
情報誌の作り手は、想像力と思いやりが大切です。

### ● 編集後記～ESDセミナーをとおして～

がちり輪が出来てしまっていて入りにくい雰囲気のある集まりが苦手な私。でもESDは、輪が出来ることだけを目的とせず、人々が輪になって様々な事について考えたり行動する取り組みなので、居心地がいいです。(吉永 恵子)

セミナーでは、普段関わることのない方々との出会いがあり、普段の生活のなかで自分にも何か出来ることがあると気付きました。最初はひとつからでも始めようと気持ちを新たにしました。

(山本 奈美)

いままで自分中心の生活でしたが、ESDに関わっていくにつれて地域の人とつながる大切さを教えてもらったり、物事の背景まで気づけるようになりました。楽しみながらたくさん成長させてもらっています。(新開 梓)

さまざまな年代、職業の人たちと体験したり、感じたこと考えたことを話し合い、いろんな角度から問題を見ることができ、刺激を受けました。これからも継続的に学び、アクションに変えていく持続可能な教育の担い手になってゆきたいと思います。(野路 玲子)

セミナーを通じて多様な分野、そして幅広い世代の方々と接することができました。「人」と「人」とのつながりを大切にして、地域に根付いた学びあいのスタイルを見つけながらこれからも成長していきたいです。

(コーディネーター 上村有里)

セミナーをとおしてさまざまな人との出会い、気づき、学びがありました。また、セミナー受講生のみならず、皆さんの学びの意欲と行動力に触れ、一人ひとりの力の大きさを実感しました。ESDの輪が今後さらに広がっていくよう取り組みを続けていきます。(豊中市環境政策室 村辺 智子)